

生きとし生けるものすべてに感謝

— 誰もが生涯幸せに暮らせるように —



発行者 細川美津子
 発行 社会福祉法人利生会
 特別養護老人ホーム 亀岡園
 亀岡市河原林町河原尻上砂股 100
 電話 (0771) 24-5408

特別養護老人ホーム 第二亀岡園
 亀岡市葺田野町奥条古畑2
 電話 (0771) 25-9700

第二亀岡園ケアハウス
 亀岡市葺田野町奥条古畑2
 電話 (0771) 25-5701

高齢者あんしんサポートハウスりしょう
 亀岡市河原林町河原尻中垣内 39-1
 電話 (0771) 21-1899

利生会 柿花診療所
 亀岡市葺田野町柿花畑ケ中 17
 電話 (0771) 25-1700

ホームページ
<http://www.rishoukai.com>

細川美津子理事長

瑞宝双光章受章祝賀会

令和元年十一月二十一日(木)



〈発起人の皆様〉 左から櫛田 匠様、大谷俊定様、大槻秋司様、桂川孝裕様



神ひろみ様 前測 功様 齊藤一義様 中村正孝様 田中英夫様 眞継進吾様 前川二郎様

令和元年春の叙勲において、細川美津子社会福祉法人利生会理事長が、長年に亘り高齢者福祉の向上に貢献した功績により「瑞宝双光章」を受章しました。

この受章を記念して、桂川孝裕亀岡市長他4名の方に発起人となつていただき、去る11月21日(木)にギャラリーかめおか大広間において「祝賀会」が開催されました。

祝賀会には市内、市外から関係者や友人など約150人の方々に出席をいただき、勇ましい日吉太鼓の演奏の中、発起人・受章者が出席者を出



日吉太鼓 桜水会による「祝太鼓」



長唄 獅子の乱曲 川勝流三世家元による「祝舞」

迎え、祝賀会が開会しました。

祝賀会では、櫛田匠京都府社会福祉法人経営者協議会会長から細川理事長の今日までの歩みが紹介され、次いで桂川亀岡市長から発起人代表の挨拶をいただきました。

来賓としてご臨席をいただいた京都府知事(代理、前川二郎南丹広域振興局長様)、田中英之衆議院議員(代理、秘書眞継進吾様)、田中英夫京都府議会議長から心温まる祝辞をいただき、細川理事長が受章の栄に浴せたのはひとえに皆様のご指導、ご鞭撻の賜物と謝辞を述べました。

引き続き川勝康智也川勝流三世家元の祝舞で



ピアーチェ



お孫さんによる「花束贈呈」

祝宴の幕を開け、中村正孝京都府議会議員のご発声により出席者全員で乾杯を行い、理事長の受章をお祝いしました。

祝宴は「ピアーチェ」がお祝いの曲々を奏でる中、和やかな雰囲気の中で、齊藤一義亀岡市議会議長、前測功亀岡友愛園施設長、ご友人の神ひろみ様からお祝いの言葉をいただき、お孫さんの市川皓貴君、市川智貴君から細川理事長にお祝いの花束が贈呈されたと会場は大きな拍手で包まれました。

最後に大谷俊定亀岡市保護司会会長が本日の祝賀会出席のお礼と引き続きのご支援・ご協力をお願いして祝賀会はお開きとなりました。

ご挨拶



社会福祉法人利生会
 理事長・総園長
 細川美津子

令和二年を迎え、常日頃より利生会の事業運営につきまして、各行政機関並びに福祉団体、地域の皆様の格別なご理解とご協力を賜り、心より厚く感謝と御礼を申し上げます。令和になり最初に迎える新年庚子の年は、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ進展を迎える年です。東京オリンピック、パラリンピックの開催を始め、感動と情熱に満ちた一年と成ることでしょう。子は十二支の一番目、庚は原石の意味があり、エネルギーに歩みたいと思っております。

私事ではございますが、昨年十一月二十一日に瑞宝双光章受章を祈念して、祝賀会を催して頂き有難うございました。御来賓の西脇隆俊京都府知事様、田中英之衆議院議員様、二之湯智参議院議員様、西田昌司参議院議員様、田中英夫京都府議会議長様、皆様から身にあまるご祝辞を賜り、感激感謝をいたしております。四十年間、社会福祉法人利生会でお世話になり、皆様にはあらゆる所でお手を差し伸べて頂き、また、先人お釈迦様の教えもお借りしながら高齢者福祉に對しまして、少しでもお役に立たせて頂く事で事に生きがい、勇気、力を与えて頂き、生かされていることに感謝感謝でございます。至らぬ私が高齢者福祉功勞の故を以ちまして、瑞宝双光章の栄に浴びましたことは、これひとえに皆様様のあたたかいご指導、ご鞭撻の賜物であり、ここに謹んで厚く御礼を申し上げます。又、発起人の皆様には大変お世話になりました。心より感謝いたします。

この感謝とご厚意を肝に命じ、なお一層精進を重ね、誰もが生涯幸せに暮らせる終生楽土の実現のために、役職員一同実践を重ねてまいります。格別のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。本年も皆様様が健康で幸多き年となりますよう祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

歓迎 外国人技能実習生



レティ タイ スンさん
グエン ティ トウさん
ウティ フェンさん
グエン ティ ルエンさん
ダオ ティ ホアイさん

私達は、外国人技能実習生の受け入れに向けて、一年前から準備を進めて来ました。

技能実習生には、日本の介護技術を身に付けて、一年程前から準備を母国に持ち帰るといいう大きな目的があります。その為に、大切な家族と離れ、将来の幸せをイメージし、大きな希望を持って日本に来ています。実習生達は、きつと強くって遅しい人達だろうなと想像を膨らませていました

が、想像とは少し違い、とても可愛らしく笑顔が素敵な女の子達でした。出逢った瞬間に、この子達を守らなければならないうという親心の感情となり、これからの実習指導への不安よりも、やっぱり出逢えた事への喜びの方が大きかったです。そして、自己紹介の日本語がとても上手だった事が印象的でした。

受け入れにあたり、一番不安に思っていたことが、言葉の壁でした。彼女達は、日本での研修により、日常的な会話や基礎的な介護技術は学習されていますが、本番はこれからです。すでに、指導者と共に現場に入り実習が始まっています。現場での業務の内容は厳しく、時には言葉が繋がらず、身振り手振りを交えながら懸命にやっています。利用者さんも、いつも温かく見守って下さり、実習生達も、毎日笑顔で頑張っています。

実習生との出逢いは、互いに苦労もあります。刺激があり実りが多く、実習生と共に、私達指導員も一緒に成長していきたいと思えます。利生会においても、大きく可能性が広がり、利用者さんの幸せに繋がると信じています。

この自然いっばいの景色の中で、利用者さんと共に、四季折々の景色や文化と一緒に楽しみながら、実習生が日本を大好きになって欲しいと願うばかりです。



この自然いっばいの景色の中で、利用者さんと共に、四季折々の景色や文化と一緒に楽しみながら、実習生が日本を大好きになって欲しいと願うばかりです。

この自然いっばいの景色の中で、利用者さんと共に、四季折々の景色や文化と一緒に楽しみながら、実習生が日本を大好きになって欲しいと願うばかりです。



この自然いっばいの景色の中で、利用者さんと共に、四季折々の景色や文化と一緒に楽しみながら、実習生が日本を大好きになって欲しいと願うばかりです。



この自然いっばいの景色の中で、利用者さんと共に、四季折々の景色や文化と一緒に楽しみながら、実習生が日本を大好きになって欲しいと願うばかりです。

この自然いっばいの景色の中で、利用者さんと共に、四季折々の景色や文化と一緒に楽しみながら、実習生が日本を大好きになって欲しいと願うばかりです。

行事 秋 → 冬

令和元年晩秋～令和2年初冬



みなさん慣れた手付きです。玉ねぎの苗植え。...



河原尻子ども会「子どもみこし」が亀岡園にやってきました！



第二亀岡園のクリスマス会

職員も利用者さんと一緒に楽しく一芸！



今年も家族で書初めありがとうございます



まかせなさい！



男性利用者さんならではの「もちつき」と女性利用者さんに負けじと小もち作り



鬼は外！ 福は内！



みなさんと仲良くいつまでも、いつまでも元気でいられますように...

昨年の年末から年始にかけて、数々の行事が盛りだくさん!! 忘年会では、第二亀岡園は恒例の職員の出し物で、会場全体の掛け声をお願いしながら「南京たますだれ」や「大きなかぶ」、「のど自慢」などをさせて頂き、笑い声が絶えませんでした。

年末の餅つきでは、利用者さんも一生懸命お餅をついたり、丸めて下さったりして、美味しいお餅が出来ました。年明けの初詣では、「今年も笑顔で健康に過ごせますように」と利用者の方々が祈願されました。

クリスマス会



12月22日(日)、京都府南丹地域にある三つの高校合唱部(亀岡高校・農芸高校・南丹高校)合同クリスマスコンサートが亀岡園地域交流ホールにて開催されました。



合唱部に在籍する生徒が年々、少なくなっており、10年前から合同で練習や演奏会を行い、部ではなく同好会の高校もある中、今回3名の生徒24名が一同に集まって開催される機会が得られました。ヴァイオリンの澤田知栄子様、ピアニストの波多野

を見ていて、練習以上の力が出せた!」「応援してもらっていると感じた!」など喜びの感想が聞かれました。2020年3月25日には、亀岡市の「ガレリアかめおか」にて、10周年記念亀岡高校・農芸高校合同定期演奏会が開催されます。今回は南丹高校合唱同好会も合同で演奏されます!

地域の達人

「日吉神社の絵馬」 山木幹男様

亀岡園の所在地、亀岡市河原林町河原尻には、室町中期創建とされる日吉神社があります。この



神社は地元河原尻の氏神の神社として、亀岡園や高齢者あんしんサポートハウスりしよの初詣を始め、四季折々の行事毎に施設利用者も参加させて頂いたり、ご縁のある神社です。その神社の掲示板には、見事な絵馬が掲げられています。今回はその制作者である山木幹男様にお話しを伺いました。

6年前の2014年山木様が神社総代となられたのを機に、寂しげな神社境内に明るさをと活気を取り戻すべく、90cm×180cmの大きな絵馬を掲示板に掛けてみてはどうかと、取組を始められたそうです。

社境内に明るさをと活気を取り戻すべく、90cm×180cmの大きな絵馬を掲示板に掛けてみてはどうかと、取組を始められたそうです。毎年9月頃から制作を開始され約2ヶ月間で完成させられるとの事。色彩を豊かに、正月らしい絵作りにする事をモットーに、配色はブルーとレッドを中心に、画材は油とアクリル、筆とスプレーを使用して、絵作りをされているそうです。

「地域一人暮らし高齢者と亀岡園の会食交流会」



亀岡園では、1年に1度ではありますが平成2年より、地域の一人暮らし高齢者や民生委員の皆さんに施設にお越し頂き、手作りの食事を一緒に食べたり、模擬店、カラオケ等行い、交流の機会をつくっていただきます。今年は、地域の駐在所の方々にもお越しいたいただき、特殊サギの講演やサギ防止のミニコンサートがあり、楽しい防犯教室が開催されました。30年続くこの取り組みの中で、施設職員は地域の方の顔も覚え、色々な所で見聞するのは喜んで見聞しています。

徘徊模擬訓練



令和元年11月、穂田野町鹿谷区にて「ふれあい声かけ」訓練が開催されました。平成27年から穂田野町の各区で実施され

ている訓練であり、今回で5回目になりました。数年前に認知症の方が行方不明になったことがあり、未然に防ぐ方法や情報共有について話し合う中で、まずは地域の中で認知症という身近な病気を理解し、どう接していくことが大事であるかを皆で体験して行こうと、自治会や地区社協の方々が中



心となって実施されています。訓練は和やかな雰囲気です。訓練は和やかな雰囲気

安全運転教育車体験教室



11月6日、亀岡園と川東地域包括支援センターでは、亀岡警察署にご協力いただき安全運転教育車体験教室を行いました。職員・地域の方にも声をかけ、

午前・午後を通して30名ほどがテレビ画面に映る交通シミュレーションを行いました。雨天時や急な飛び出し等様々な想定でハンドルを握り、自分の弱点を理解することができました。

高齢者による交通事故もニュースで多く取り上げられる昨今ですが、どんな時も安全運転に注意し、安心の街づくりを心がけたいと思います。

利用者さん こんにちは

第二亀岡園ケアハウス

山東京子様(93歳)



ケアハウスに入居して今年の1月でまる2年が過ぎました。家にいた頃は、家事全般、買い物と全て自分でしていました。数年前に膝を痛め、何をすることも出来にくくなってしまい、友人の勧めでケアハウスにお世話になっています。環境も良くここにきて良かったと喜んでます。自分で出来る事は、出来るだけ自分でするように心がけています。ケアハウスの喫茶でコーヒーを飲む事や、友人が訪ねて来てくれて一緒に食事をするのがとても楽しみです。今年、94歳になりますが、周りの人に迷惑を掛けないように、健康に気を付けて元気に過ごしたいです。

御芳志

皆様の御芳情に厚く御礼申し上げます。(順不同・敬称略)
令和元年10月1日～令和2年1月31日

御寄附

廣瀬良吉 廣瀬紀男 秋田ミツ 竹岡弘 月曜日ダンスの会たんぽぽ
中澤桂子 太田保育園 川東地区民児協 詩吟神風流和敬愛塾吟詠会
井上妙子 寺町春美 亀岡婦人社交ダンスサークル・レスポワール
村上宏男 レインボーサークル 石田晃平 河原工 堤明裕

御寄贈

青野博美 青柳さくみ 浅田ミヨ アサヒサンクリーン(株) 池本敏代
市川益代 出野義和 井上美加 井上良雄 大谷俊定 篠原良染工(株)
奥条ふれあい市場 亀岡市社会福祉協議会 日下部純代 田中ヒノエ
亀川知里 曾我部町南条老人クラブ 高一清 齊藤孝雄 中川真利子
瀬野哲郎 田中英也 多田彰 谷口貞司 寺田美代 西田隆 畑憲雄
寺町春美 中澤桂子 中村立弥 久徳満子 福本朝子 山内美恵子
船越悦二 廣瀬照美 福島正俊 牧澤利博 松田貞子 西田篤廣
松本妙子 森田陽子 湯浅悦子 (株)セレマ (株)親愛 匿名12人

お中元、お歳暮、お土産の御心配・お心遣いのなきようをお願い致します。
～職員一同～

柿花インフォメーション



インフルエンザが流行

寒い日が続きますが、お元気でお過ごしでしょうか。暦の上では二十四節季の「雨水」(2月19日)が過ぎ、春の訪れが待ち遠しい季節となってきました。しかし、インフルエンザが今も流行しています。

インフルエンザの予防策としては、

- ◇ 外出から帰った際は手洗い、うがいをしましょう。
- ◇ できるだけ人込みを避け、外出時にはマスクを着用しましょう。
- ◇ 室内では適度な湿度(50%～60%)を保ちましょう
- ◇ 十分な睡眠やバランスのとれた食事に心がけましょう。

感染性胃腸炎(ノロウイルス)に注意

ノロウイルス感染症は、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こすウイルス性の感染症です。

主に冬場に多発し、11月頃から流行が始まり12月～2月にピークを迎えます。

原因であるノロウイルスは乾燥や熱にも強く、感染力が非常に強いウイルスです。

潜伏期間は24～48時間で、突然の嘔吐・水のような下痢・腹痛・吐き気が主な症状です。

汚物(嘔吐物や排泄物)には大量のノロウイルスが含まれていますので、「すばやく」「適切に」処理をする必要があります。

地域に密着した医療機関として

柿花診療所では、近隣の地域を対象に外来受診の方の送迎サービスを実施しています。

また、SSP(低周波治療器)・メドマー(足のマッサージ器)などを使用した物理療法も引き続き行っています。ご希望の方は診療所受付窓口にご相談ください。

地域医療と社会貢献を目指す 柿花診療所

〒621-0036 京都府亀岡市蕨田野町柿花畑ケ中17番地
電話 0771-25-1700 FAX 0771-24-9006

診療時間 [午前のみ]9:00～12:00(月曜～土曜) ※日曜・祝日・お盆 年末年始は休診

新職員紹介



特別養護老人ホーム 亀岡園 介護職員 有本 玲奈

昨年6月より亀岡園でお世話になっています。だいぶ仕事に慣れましたが、まだまだ知識不足な所もあるので、日々勉強し利用者様に安心して過ごして頂けるよう、頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

新利用者紹介

亀岡園

渡邊 英子様

令和元年10月22日入所



若いころは編み物をするのが好きで、よくいろいろなものを作っていました。又、家が百姓をしていたので農作業をしたり、草引きもしていました。これからも出来る事はお手伝いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

亀岡園

小西 喜八郎様

令和元年10月30日入所



身体を動かすことが好きです。何かお仕事があれば何でもお手伝いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

亀岡園

山木 幸栄様

令和元年11月8日入所



私は歌が好きで歌の会を楽しみにしています。皆と唄うのは楽しいですよ。これからも楽しく亀岡園で過ごしたいです。

亀岡園

中澤 重子様

令和元年11月26日入所



長い間専業主婦をしていました。人とお話しするのが好きなので、ここでもたくさんお話を聞いて、楽しく過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

亀岡園

多田 みち子様

令和元年12月13日入所



裁縫が好きで、昔からよく縫い物をしていました。歩けるようになったので、これからも頑張って歩いて元気に過ごしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

亀岡園

小澤 敏子様

令和2年1月24日入所



私は身体を動かすことや歌が好きです。歌の中でも演歌が好きです。これからも皆さんと体操をしたり歌を唄ったりと、楽しく過ごせたらと思っています。よろしくお願いします。

亀岡園

木村 忠雄様

令和2年2月1日入所



ハーモニカが得意なので、みなさんにも聞いて頂きたいです。部屋から見える自然の景色が大好きです。

亀岡園

児玉 清子様

令和2年2月4日入所



昔から料理が得意です。歌やおしゃべりも大好きです。こちらでも楽しく過ごしていきたいです。

第二亀岡園

北川 夏野様

令和元年10月11日入所



若い頃はトマトやきゅうりを作っていました。こちらに来てからはのんびりと過ごす事が出来て、ご飯も美味しく食べられています。

第二亀岡園

森 よし様

令和元年12月24日入所



昔からお風呂が好きで、今でもお風呂の日が待ち遠しいです。百姓などをして忙しくしていましたが、今はゆっくり過ごすことが出来ています。

第二亀岡園

徳島 光枝様

令和元年10月10日入所



体調を崩し入院したことをきっかけに、一人暮らしに不安を感じケアハウスに入居を決めました。年を重ねる度に寂しさを感じる時もありますが、皆さんが親切に下さり毎日楽しく過ごしています。

第二亀岡園

竹元 ひとみ様

令和元年10月23日入所



まだまだ一人暮らしをしていけると思う気持ちはありましたが、娘の勤めもありケアハウスに入居しました。毎朝の体操に参加、また色々な事をお喋りする友人も出来ました。これからもよろしくお願いします。



職員リレーインタビュー 第31回

今回は、特別養護老人ホーム 第二亀岡園

労務・厚生主任 前川淳二さんにバトンタッチ♪



名前 前川 淳二 入社日 平成19年3月2日

最近思うこと…

第二亀岡園は四季折々の景色が楽しめる風情があります。春には桜の花が咲き、夏には蝉時雨が、秋には紅葉で目が癒され、冬には雪化粧で心が奪われます。しかし、近年のさまざまな環境問題の影響で季節感がなくなりつつあります。海水温も上昇し、私のような釣り好き人間には生態系の変化が良く分かります。

当たり前のことが当たり前ではないということを常に念頭において行動していきたいです。そのためにも、春には桜が咲き、利用者さんや職員みんなの笑顔で満開になることを願い、楽しみにしています。

編集後記

園だより発行に際し、いつも皆様のご支援、ご協力を頂き誠に感謝申し上げます。当法人では、各施設で毎月苗秀寺住職大谷先生による法話の時間を設けています。年明け1月のお話の中で「笑うこと」は病気をも治す力があると言われていました。怒ったり嫌がったり、文句を言うなどの感情を笑顔や笑うことに切り替えることで、感情が豊かになり身体が元気になるということです。暗い後ろ向きの感情は余計に身体の調子も悪くなります。「笑うこと」は周りも明るくなったり、楽しくなったりしますよね。皆様、今年は「笑うこと」を増やしましょう。今後とも、亀岡園だよりをよろしくお願い致します。(編集委員 中島由美子)